

開 会 令和 6 年 7 月 2 9 日（月）午後 2 時 0 0 分

閉 会 令和 6 年 7 月 2 9 日（月）午後 3 時 3 5 分

令和 6 年度第 1 回金ケ崎町子ども・子育て会議

会議録

金ケ崎町子育て支援課

令和6年度第1回金ケ崎町子ども・子育て会議会議録

令和6年7月29日（月）午後2時金ケ崎町役場4階大会議室において、金ケ崎町子ども・子育て会議を開催した。

1. 出席委員

会 長	吉田 泰治	副会長	渡辺 理恵
委 員	菊地 春香	委 員	小南 麻衣
委 員	高橋 修	委 員	小野寺謙一
委 員	千葉 勝	委 員	扇 良明
委 員	田村 一成		

2. 欠席委員

委 員	高橋 邦博	委 員	高橋 新悦
委 員	渡邊つる代	委 員	千枝 徳三
委 員	鹿島 麻衣	委 員	榊 文仁

3. 町出席者

高橋町長

【関係課】 教育委員会事務局 教育次長 千葉重徳、次長補佐 渡邊久美子、
係長 折笠可奈子

住民課 係長 内藤まゆみ 生活環境課 主事 小原莉世
商工観光課 課長補佐 星幸子 都市建設課 主事 佐藤真仁
中央生涯教育センター 副主幹 松本浩和
保健福祉センター 主事 橋本好美

【事務局】 子育て支援課 課長 稲葉郁子、課長補佐 浅利英克、
副主幹 菊地淑子、主事 高野経子

【説明者】 ケイカクラブ株式会社 代表取締役 村上勝俊

4. 傍 聴 人 2 人（報道機関2人）

5. 会 議

〔1. 開会〕

稲葉課長 令和6年度第1回子ども・子育て会議を始めさせていただきます。本日の司会を務めます子育て支援課の稲葉です。

 本日は、高橋邦博様、高橋新悦様、渡邊つる代様、千枝徳三様、鹿島麻衣様、榊文仁様より欠席の報告をいただいております。

 本会議は、金ケ崎町子ども子育て会議条例第6条第2項により委員の半数が出席しております。定足数に達しておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

 それでは、吉田会長よりご挨拶をいただきます。

〔2. 挨拶〕

吉田会長 皆様、お忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。昨年度から会長を仰せつかっております、三ヶ尻小学校校長の吉田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

 さて、昨年度末のニーズ調査について取りまとめ等が進んでおりまして、子育て行政についても反映している部分がございます。また、今年度末には、計画策定を目指して進んでいるところでございます。より充実した子育て行政が進みますよう、また、将来を見据えた計画が策定されますよう、皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

稲葉課長 ありがとうございます。続きまして、金ケ崎町長高橋寛寿より皆様にご挨拶を申し上げます。

町長 本日は、本会議のお願いをいたしましたところ、皆様にはお忙しい中、ご参集いただきましたこと、御礼を申し上げたいと思います。

 子ども・子育てについては、国を挙げて取り組みを行っているところです。令和7年3月を目途に、令和7年から12年までの5年間の計画を策定することで、昨年からは皆様方には調査の結果をご覧頂き、様々なジャンルでご意見をお願いしております。

 国も金ケ崎町も年を追うごとに、誕生する子どもの数が減って

きておりまして、平成 20 年には年間 130 名ほどの子供が誕生しておりましたが、10 年を経過した平成 30 年に 100 名、令和 5 年度には 90 名ということで、本当に減少に歯止めがかからないという状況です。合計特殊出生率（15～49 歳の女性の年齢別出生率を合計したもの）は、国も全都道府県でも減少して、かなり深刻な状況と
思っております。ということから、子育てしやすい環境を作ることが非常に重要で、子ども・子育て会議を行いながら、次の世代にどんな取り組みをすればいいのかという計画を作ろうと考えているところであります。

一方では合計特殊出生率の計算の仕方は特殊で、分子が生まれてくる子どもの数、分母が 20、30 代の女性の人数になっているのでございまして、分母も減ってはいるものの、よく見ると、結婚をされた夫婦の間に生まれる子どもの数は、ここ 20 年ほど遡っても、ほとんど変わっていないというご指摘があるようです。最も変わったのは、結婚をされていない女性の数が、圧倒的に割合として増えております。分子分母が減ってはいるものの、分子の減り方が非常に大きくて、その 1 つの要因と言われるのが、結婚をされていない女性という指摘がございます。

そういう観点から見まして、男性、女性の双方が結婚をしても、結婚する前、あるいは出産する前と同様の働き方、生活の仕方というものが求められているという感じがいたします。幅広い観点から皆様のご意見をいただいて、金ヶ崎町の子ども子育ての計画書について、実効性のある計画書を策定して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

稲葉課長 続きまして、3. 報告に入ります。町長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。

（町長退席）

稲葉課長 この後の進行につきましては、会長に議長をお願いします。吉田会長、お願いします。

〔 3 . 報 告 〕

吉田会長 それでは、報告に入ります。

報告「(1) 金ケ崎町子ども・子育て支援事業計画 令和5年度実績報告、令和6年度取組について」、事務局、説明をお願いいたします。

事務局 (金ケ崎町子ども・子育て支援事業計画令和5年度実績報告、令和6年度取組について説明)

吉田会長 ただ今の件につきまして、意見や質問等はありませんか。

小野寺委員 19番について説明のありました翻訳機の個数と設置先、あるいは、使用に対して不都合がなかったか、子どもへの取り組みの仕方、親御さんに対するアプローチなど、もしあれば教えていただきたいと思います。

吉田会長 事務局、説明をお願いします。

事務局(浅利補佐) 外国の方が増えたので、子育て支援課で翻訳機1台を急遽準備しました。保健福祉センターでは、以前より導入しているところでございます。

教育委員会事務局(折笠係長) 幼稚園の保護者面談で使いたいということで、住民課に1台設置されていたものを貸し出して、利用しています。それから、小学校に入学したお子さんとのやりとりのために、県から1台借用して、利用しております。学校にはタブレットが1人1台入っておりますので、そちらを活用していると聞いております。

小野寺委員 コミュニケーションの取り方に、差し障りがないですか。

事務局(浅利補佐) 試行的に使用しているところで、これまで英語や中国を話す方は対応していましたが、最近ベトナムの方が多く、職員等で対応できない言語でしたので、急遽その機器を準備して、コミュニケーションを図っているところでございます。

吉田会長 その他意見、質問等ありませんか。

高橋委員 8ページの食育の関連で状況を聞きたいと思います。

学校では給食が出るから保護者が安心ですが、長期休業になる

と、家でちゃんと作る人が居ない場合、お昼をきちんと食べられているのかという不安を持っています。全国的にもそういう話が出ています。町内にもそういった懸念があるのかどうか、担当部署として把握しているものか。

関連して、学童保育所に行っていれば別ですが、子どもが一人でいるということがあって、長期休業がなくてもいいのではないかと提唱している方もいます。長期休業がない方が、食事の面でも安心して子どもが1人にならないし、学校は全て国の補助金で冷房措置が付いたとこともあって、一番学校にいたことが安全安心だという話も出てきました。長期休業の際の子どもの食が不安だという話が出ているものか、聞いてみたいと思います。

吉田会長
教育次長

事務局、お願いします。

正式に休み中の昼食等について、教育委員会として把握しているということはないです。各学校では、心配な子ども達、家庭は把握しておりまして、休み中でも連絡を取ってみたり、数少ないですが登校日を設けてみたり、心配であれば、連絡を完全に途切れることがないように配慮をしていると把握しているところです。

子育て支援課長 子育てに関する相談などで、直接、当課に食事が不安という声は受けていませんが、都会の方で、お弁当がある学童保育所や子ども食堂があり、様々な居場所づくりも含め、弁当を提供するサービスが出ていることから、使いたい方々が潜在的にはいるのではないかと思っております。

現時点では、皆さんのご意見とかをお伺いしながら、できるものがあれば町としても検討していくという状況と考えます。

高橋委員

学校では、個別の対応をしているということでしたので、安心いたしました。

前の会議で話をした「お弁当の日」は非常に良いものではあるのですが、実際は必ずしも良いと思ってない方もいるわけです。だけど、それを苦痛ですとなかなか正直言いづらいものです。ほとんどの方は状況に合わせてやっているもので、今すぐに心配では

ないと思うのですが、このような状況が出てきているので、今までのような考え方だけではいけないと思っています。金ケ崎でも、NPO法人などの居場所というものがあることはそういうニーズがあるし、実際に食事付きで使っている人がいるということです。対応や調整もあったので、了解しました。

吉田会長 その他、ご意見ご質問ないでしょうか。

千葉委員 No.46 ですが、「金ケ崎町食材 100%の日」名前を変えて、「金ケ崎町産食材の日」になったということで金ケ崎町産がどのぐらいの拡大したのか聞きたいと思います。

教育次長 「金ケ崎町食材 100%の日」の 100%を抜いたことについては、100%にするのが非常に難しく、ほぼ 100%でありながら少し違うところのものが入るという辛い状況もあるので、それでも金ケ崎町産のものを大事にして、給食は実施したいという意味から、100%を外し継続してやっていくという思いであります。

 広がるという感じでもないのですが、肉等含めて 30 前後の食材で金ケ崎町産を使用しながら、なるべく使用しながら給食を提供しているところでございます。

吉田会長 その他ございませんか。

（なしの声）

吉田会長 それでは以上で報告（１）について終わりたいと思います。

 次に、「（２）子ども・子育て支援に関するニーズ調査の自由意見に対する取組等について」、事務局、説明をお願いいたします。

事務局 （子ども・子育て支援に関するニーズ調査の自由意見に対する取組等について説明）

吉田会長 それでは、ご意見ご質問等お願いします。

吉田会長 私から 2 点あるのですが、4 番の「不定期の預かり事業」について、保護者のニーズ聞くと夏休みや冬休みだけ学童保育所で預かってほしい話を聞きますが、いかがでしょうかというか。

 2 点目は 13. その他の「安全な通学路の整備」に関わりまして、学校には危険箇所を上げるように求められるのですが、その改善

についてどのような検討がなされて、どのように進めているのか
ということをお教えいただきたいと思います。

事務局（浅利補佐） 学童保育所に長期休業だけ預けたいという要望や、気軽に
預けたいという話もございました。国の事業なので、要綱等を考慮
して、運営団体と今後協議したいと思っております。

教育委員会事務局（折笠係長） 通学路の安全点検について、学校で要望と危険
箇所を挙げていただき、例年6月頃に関係機関、国道が含まれば
国土交通省、警察や地域の行政区長が入って、要望のあった箇所全
部点検しています。そちらに教育委員会も同行しています。

その中で、実現可能な方向を含めて検討し、各関係部署に、例え
ば信号であれば警察に要望を出す等の対応をしています。

吉田会長 他にございませんか。

小南委員 4. 不定期の預かり事業③ファミサポ事業の「ファミサポからホ
ームスタート事業が始まると良いと思う」という意見で、ホームス
タートということを知らなかったのもネットで調べてみたら、乳
幼児がいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が週1、2回
程度、無償で訪問してお母さんのお話を聞いたり、家事を一緒にし
たりする訪問型子育て支援ボランティアのことでしたが、すごく
良いと思いました。すぐには無理でしょうが、事業になっていくよ
うに考えていただけたら良いなと思いました。

事務局（浅利補佐） 全国的な組織でホームスタート事業が行われていますが、
お話のあった通り、乳幼児がいる家庭に地域の子育て経験者が家
庭訪問して、お世話するだけではなくて、傾聴ということで、保護
者に対しての悩みや相談を受けるといった対応となっております。
よって、ファミサポとは、別な事業になると思っております。ホー
ムスタート事業は、ニーズ等や対応できる方がどれくらいいるか
を考慮しながら検討はしていきたいと思っております。

ファミサポ事業でも、会員同士の協議で、自宅での預かりや付
き添いなどの家庭訪問型で対応することは可能となっておりますの
で、ファミサポも使っていただきたいと思っております。先ほど

検討と言いましたのは、ファミサポも預かる「まかせて会員」がなかなか不足している現実がありますので、預かる方が増えていけば、この事業にも取り組めると思っています。お知り合いの方がいましたら、会員になってほしいと思っています。

吉田会長 おじいちゃんおばあちゃんが現役で働いていることが多くて、自治会の役員でも働いているから駄目だということが多くなっています。ボランティアに頼っていくことは、難しいところがあるのかもしれない。

吉田会長 その他ございませんでしょうか。

高橋委員 町内でヤングケアラーの実態調査がされたことがあるのか。新しい社会課題、特にクローズアップされていますが、ヤングケアラーについて現状の計画で捉えているのかお聞きします。

事務局（浅利補佐） ヤングケアラーに関しては、昨年度3月の子ども・子育て会議でも実態を掴みにくいと話題になりました。昨年度の子ども生活調査のヤングケアラーに関する項目で、子ども達が家族のお世話をして、学校を休んでいるという回答も中にはありましたので、ヤングケアラーに該当するのではないかとみたところではございました。ただ、家族の世話をすること自体が、例えば長期休業の学校からの宿題等で、お手伝いをすることもあるので、ヤングケアラーの対象となるか、実態としては把握しづらいと思っていました。昨年度の会議では、ヤングケアラーに関して、民生委員の方々からも、日中に家庭にいないということから、訪問しても実態が把握しづらいとのお話がありました。吉田会長からのお話では、出欠状況、その理由等を確認しながら注視していくというお話もありました。今回の計画づくりの中では、ヤングケアラーも検討していくこととなっていますので、引き続きご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

吉田会長 その他ございませんでしょうか。

（なしの声）

吉田会長 それでは以上で報告（2）について終わりたいと思います。

次に、「(3) 子ども・子育て会議委員のニーズ調査・子ども生活調査報告書への意見等に対する取組等について」、事務局お願いします。

事務局 (子ども・子育て会議委員のニーズ調査・子ども生活調査報告書への意見等に対する取組等について説明)

吉田会長 それでは、ご意見ご質問ございませんか。

吉田会長 スクールソーシャルワーカーの配置について、適用教室が開設されたことによって、かなりその機能が進んだのではないかなと思って感謝申し上げます。スクールカウンセラーについて、問題が起こったときに対応することも役目ですが、問題が起こったときに相談できるということを広めていく、安心感を持たせていくということが不登校、いじめ等の予防に繋がると思います。問題のない児童含めて全員面談を行っている学校もありますし、それが叶わないときは卒業間近の6年生だけ、スクールカウンセラーと顔を合わせする働きかけをしている学校もあるので、現場任せになると問題行動優先ということになりますが、行政の力で、問題のない学校にも行く流れができれば良いなと思っております。

それから、地域コーディネーターの配置について、金ケ崎町は早期に学校運営協議会制度を導入したにもかかわらず、地域学校協働活動、学校の外で行われる子どもへの教育活動を大変盛んに行っていると思いますが、一方で学校の中のカリキュラムの中で地域の方の活躍する機会は、本校もまだまだ思っているところです。そういう流れの中で地域コーディネーターの方が居れば進むと思いました。私は現状として、学校で教える地域の方を見つけないときに、三ヶ尻地区生涯教育センターに人材を教えてください。例えば、地域コーディネーターという働きかけ、設置でなくても生涯教育センター業務の拡充のような構えを作るだけでもお願いできないものではないでしょうか。

教育次長 スクールカウンセラーについて、県から週2回という少ない配置であり、全学校を回って歩くことは、なかなか現実的には難し

いところですが。我々からも要望していますが、要望が高まっていることは改めて県に伝えていきたいと思います。

中央センター（松本副主幹） おっしゃる通り私達の方で社会教育分野ということで、学校外での参加する学習活動は、現在の事業を実施しているところですが、ただ一方で、最近では体験格差などといいますが、その場に来られる子ども達は様々な体験の機会を提供することができて、その場に来ないような子ども達、そのような場所に行かせることが億劫だったり抵抗があったりする保護者がかなりいることが大きな課題と捉えております。

そういうことで、学校との連携が実は必要で、もう1つの手段として地域コーディネーターの役割があることによって、多くの子ども達に、各種体験や機会を提供することができると捉えているところです。現状これができるかということは、この場での回答は難しいのですが、今後必要な取り組みと考えております。

吉田会長 はい。ありがとうございます。実はその来ない子ども達も含めて、地域で行われる教育活動を体験する機会を10月30日に行う予定でございまして、大変三ヶ尻地区センターの方からは講師選定から、お世話なっているところでありました。そういうふうな、役割を自覚していただくことによってより進んでいくと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（なしの声）

吉田会長 それでは、以上で報告事項3点が終わりとなりますが、全体を通して何かございますか。

小野寺委員 金ヶ崎食材100%は大事なことです、個人的に一番心配していることは学校給食の中身と質です。安く手に入る食材はほとんどないし、安全なものを出さなくてはいけないし、栄養士含めて学校給食にすごく負担が掛かっているのではないかと心配しています。それに代わって、休みや弁当の日が多いと、給食の中身がグレードアップするのではないかと考えています。学校給食の質と中身と栄養価は、落として欲しくないなので、県の助成はないの

か教えてほしいと思います。

教育次長

ご心配ありがとうございます。令和4年度までは、給食費は保護者からいただいておりますが、令和5年度からは、町費で出しております。県からの補助というものはございませんが、物価高騰を含め、質や量、中身は落ちないように、提供しておりますので、その心配はございません。ご安心ください。

給食には、塩分・脂分・糖分などの規定があるので、レストランや食堂のようなおいしさを追求することは不可能ですが、給食に許された範囲の中で、様々な工夫をしております。給食の様子をSNSに掲載して、見てくださる保護者からも大変好評ですし、先日のPTA親子行事として試食会をしたときも、とてもいいコメントを保護者さんからいただいておりますので、大丈夫かと思っております。

小野寺委員

はい。ありがとうございます。安心しました。

吉田会長

本当においしいです。先日は、オリンピック応援メニューということで、フレンチが並びました。

吉田会長

その他ございませんか。

渡辺副会長

今年度、お母さんお父さんたちと子育ての悩みを共有する座談会を2回ほど行いました。その際に、他市町村から来たお母さんから、町内遊べる公園はどこにありますかという質問がありました。お母さんたちからは広くて遊具も新しい荒巻公園とすぐに回答が出ましたが、その他は、他市町村である水沢のZアリーナや江刺のカルチュアパークが出てきました。(会議で配付した)このマップがあれば、お母さんたちがどこへ行けばこういう施設があるということが分かるので、すごく良いなと思いました。支援センターを載せていただき、子育て相談を実施中と記載されますし、支援センターに大きく印刷したものが貼ってあれば、お母さんたちがすごく理解しやすいかなと思います。赤ちゃんの駅も記載していますし、小さい0歳児から小学生のお子さんたちもこういう公園で過ごすことができるので、マップを町としていっ

ばい活用していけば良いかなと感じました。

事務局（浅利補佐） 町内には、荒巻公園やせせらぎ公園以外にも、支援センターも含めて、地区センターや社会福祉協議会の近く、役場にも遊び場もあります。屋内施設についても要望等もありましたので、もりの学び舎を迷わないようにと掲載しました。各地区に小さい公園等ありますが、それぞれで使うということから、掲載を遠慮しました。それでもこれぐらいありますので、遊び場所に迷わず、親子で外に出歩けて、交流できるように、マップを活用していただきたいと思います。マップの作成にあたっては、当課だけではなくて、中央生涯教育センター、都市建設課、教育委員会事務局の協力いただきました。よろしくお願いいたします。

吉田会長 特にご意見ご質問なければ以上としますが、よろしいですか。
（なしの声）

吉田会長 それでは、報告について、以上で終了となります。
関係課の皆さんもここで退席となります。議長の私もここで任を終えます。ご協議どうもありがとうございました。

〔４．その他〕

稲葉課長 吉田会長、ありがとうございました。
では、４．その他に入ります。「（１）子ども・子育て支援に関するヒアリング調査について」事務局から説明をします。

事務局 （子ども・子育て支援に関するヒアリング調査について説明）
今後の会議予定は、９月３０日、１１月２２日、２月２８日に開催したいと考えております。

〔５．閉会〕

稲葉課長 本日は多岐に亘る報告につきまして、様々なご意見をいただきまして大変ありがとうございました。以上で、本日の会議を終了させていただきます。お疲れ様でした。